

取扱説明書

24 V型 LEDバックライト搭載
地上デジタルフルハイビジョン液晶テレビ

AT-24L01SR

録画対応



Scubism

株式会社エスキュービズム通商



ご使用になる前に、この『取扱説明書』を
よくお読みください。本製品を安全に正し
くお使いください。
お読みになった後は、保証書とともに大切
に保管してください。

目次

スタンドの取り付け方	1
各部の名称と付属品	2
ご使用上の注意	3
B-CAS カードを入れる	4
アンテナと電源コードをつなぐ	4
リモコンに乾電池を入れる	4
チャンネル設定 最初の設定	5
テレビの視聴と設定	6
外部機器と接続する	8
別売のUSBハードディスクと接続する	9
ハードディスクのフォーマット	9
録画 直接録画と予約録画	10
録画した番組を再生する・録画リストの確認と削除	11
録画の制限事項	12
各種の設定	13
故障かな？！と思ったら	15
仕様	17

スタンドの取り付け方

1 スタンドヘッドをスタンドプレートの取付け用の溝へしっかりはめこんでください。

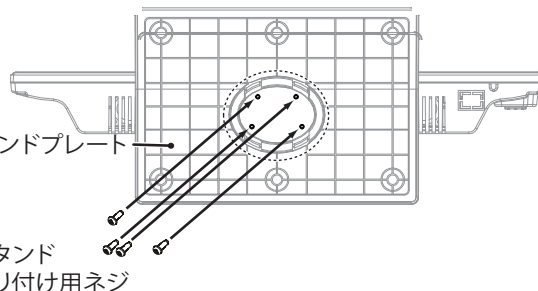
2 +ドライバーを使用して、スタンドヘッドとスタンドプレートをスタンド用ネジ（付属品）でしっかりと固定してください。

3 4本のスタンド取り付け用ネジを軽く締め、4本とも取り付けたあとに、しっかりとネジを締め付けて固定します。

※ ネジを締め付けるドライバーは同梱されていません。

市販されている +ドライバー（サイズ # 2）を使用してください。

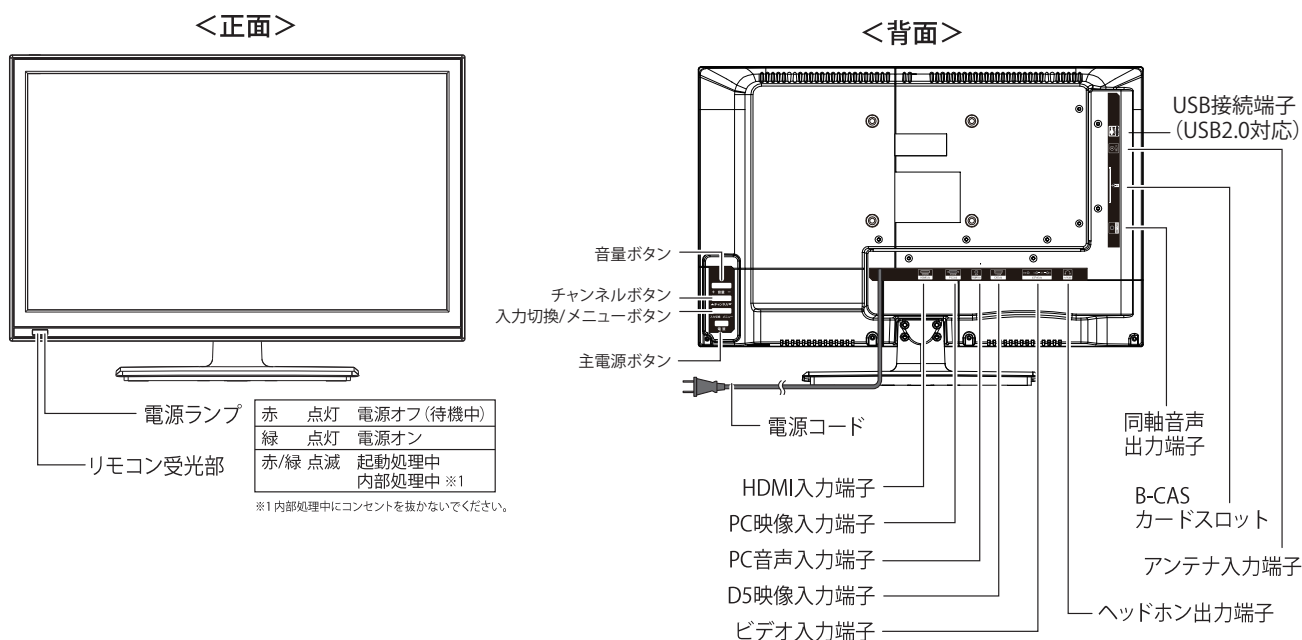
※ 壁に掛けての使用には対応していません。



各部の名称と付属品

■ 本体の各部名称

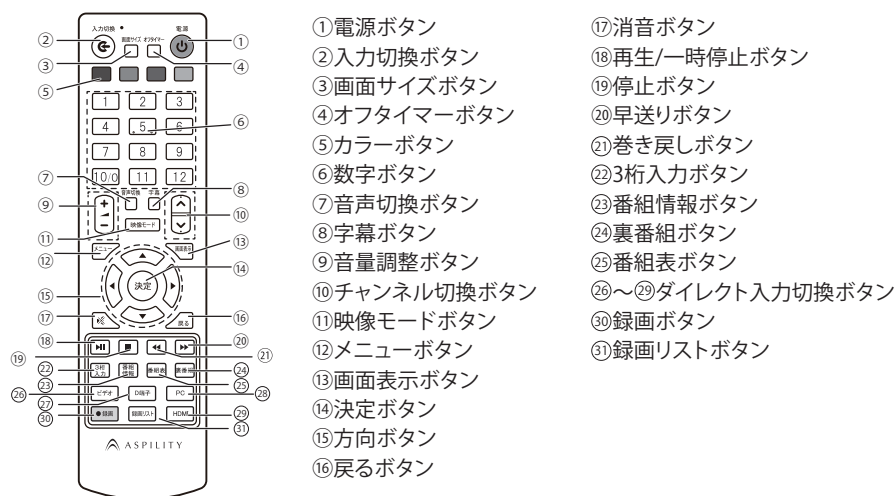
本製品は改善、改良のために仕様および外観、機能が予告なく変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。



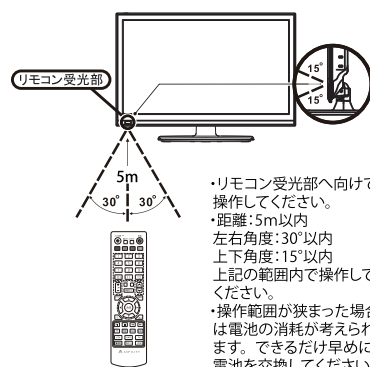
ヘッドホンを使用するときには

- ・テレビ背面にある「ヘッドホン出力端子」へ直径 3.5 mm ステレオミニプラグを挿入してください。
- ・ヘッドホン出力端子を使用している時は、テレビ本体のスピーカーから音声は出力されません。
- ・ヘッドホンの音量は、本体やリモコンにある「音量」ボタンで調整できます。

■ リモコンの各部名称



[リモコン操作]



■ 付属品

- リモコン…1 個
- リモコン用乾電池…2 本
単 4 形乾電池・動作確認用
- B-CAS カード…1 枚
- スタンド…1 個
- スタンド取り付け用ネジ…4 本
- 取扱説明書…1 部
- 保証書…1 枚
- 別途用意が必要なもの
・アンテナケーブル

ご使用上の注意

本製品を正しく安全にお使いいただくために、次に書かれている注意事項を必ずお守りください。

 警告	この表示の注意事項を守らずに誤った使い方をすると、死亡または重傷を負う危険性があることを示します。
 注意	この表示の注意事項を守らずに誤った使い方をすると、傷害または物的損害が発生する危険性があることを示します。

図記号の意味は次のとおりです。

 : してはいけないこと  : 必ずしてほしいこと

<製品についての安全上のご注意>

 警告	
	電源ケーブルは交流 100V 以外の電源で使用しない 火災・感電の原因となります。
	本製品の電源コード以外を使用しない 発火、発煙、発熱の原因となります。
	不安定な場所、振動のある場所、落下の恐れがある場所におかない 落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。
	風呂やシャワー室では使用しない 火災・感電の原因となります。
	電源プラグの端子についたほこりなどは定期的に取り除く 火災・感電の原因となります。
	ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない 感電の原因となります。
	水が入るような使い方をしない 水をかけない 火災・感電の原因となります。
	異物を入れない 後ろ側の通風孔などからものを入れると、火災・感電の原因となります。とくにお子様にはご注意ください。
	テレビの上に花瓶など、液体の入った容器を置かない 液体がこぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。
	雷が鳴り出したらアンテナ線や電源コードに触れない 感電の原因となります。
	電源コードを傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、加熱する、などしない そのまま使用すると、電源コードが破損して、火災・感電の原因となります。
	分解や改造をしない ⇒保証対象外となります。 内部には電圧の高い部分があるため感電の原因となります。
	可燃性のものが周囲にあるところへ設置しない カーテン、絨毯、毛布、カバークロス、衣服、新聞紙等の紙、埃などに注意してください。火災・感電の原因になります。
	煙、異臭、音などの異常が発生したら電源を切り、電源プラグを抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
	テレビを落したり、キャビネットを破損したときは、電源を切り、電源プラグを抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
	内部に水や異物が入ったときは、電源を切り、電源プラグを抜く そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

注意

	タコ足配線をしない 火災・感電の原因となることがあります。
	電源プラグは確実に差し込み、固定されていることを確認する 火災・感電の原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない 電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	テレビを移動させるときは、接続されている配線をすべて外す 配線が傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	お手入れや長期間使用しないときは電源コードを外す 火災・感電の原因となることがあります。
	通風孔をふさいだり、壁ぎわにぴったりつけない 内部に熱がこもり、火災・感電の原因となることがあります。
	電源コードを熱器具に近づけない コードの皮膜が溶け、火災・感電の原因となることがあります。
	風通しの悪いところや密閉した棚や台などに設置しない 内部に熱がこもり、火災・感電の原因となることがあります。
	重いものを置いたり、上に乗ったりしない 倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。とくにお子様にはご注意ください。
	液晶画面に衝撃を加えない 液晶画面のパネルが割れることがあります。
	酸性・ガソリン性の強い洗剤・溶剤を使用して掃除しない 本体が溶けることがあります。

<電池についての安全上のご注意>

 警告	
	電池は乳幼児の手の届く所に置かない 電池を飲み込むと、窒息することがあります。 また消化器管内に留まると潰瘍などの原因となり大変危険です。 ⇒飲み込んだときには、ただちに医師に相談してください。
	電池が液漏れしたときは素手でさわらない ・漏れた液が目に入ると、失明の恐れがあります。 ⇒きれいな水で洗い、ただちに医師に相談してください。 ・皮膚に付着した場合は、炎症など傷害を負う可能性があります。 ⇒炎症などの症状が出た場合は、ただちに医師に相談してください。

注意

	電池を加熱、火の中に投入しない 電池の破裂や液漏れによる火災・けがの原因となることがあります。
	電池は分解しない 電池の発熱事故や破裂、液漏れによる火災・けがの原因となることがあります。
	電池は正しい向きに入れる 電池の破裂や液漏れによる火災・けがの原因となることがあります。
	指定以外の電池を使わない 電池の破裂や液漏れによる火災・けがの原因となることがあります。
	種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使わない 電池の破裂や液漏れによる火災・けがの原因となることがあります。
	電池を使い切ったときや、長期間使わないときは電池を取り出す 電池の破裂や液漏れによる火災・けがの原因となることがあります。

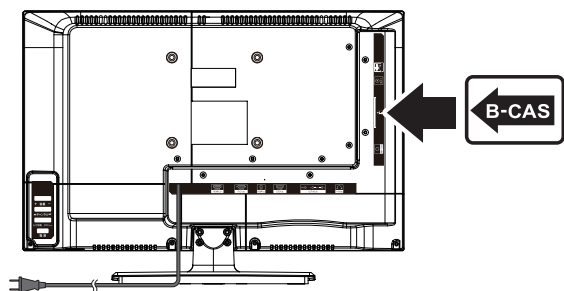
B-CAS カードを入れる

地上デジタル放送を視聴するときは、B-CAS カードを必ず挿入してください。

- ・ 付属の B-CAS カードは、地上デジタル放送の受信や「放送局からのお知らせ」の受信などに必要です。
- ・ B-CAS カードはテレビ本体に挿入したままご使用ください。
- ・ B-CAS カードは使用許諾契約約款が記載された台紙に添付されています。
- ・ 開封すると使用許諾契約約款に同意したとみなされますので、開封前に使用許諾契約約款をよくお読みください。
- ・ B-CAS カードを破損、紛失したり、盗難にあった場合は、下記までご連絡ください。

(株) ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター TEL : 0570-000-250

テレビ本体の B-CAS カードスロットに、図の方向に挿入します。(奥まで確実に挿入してください)

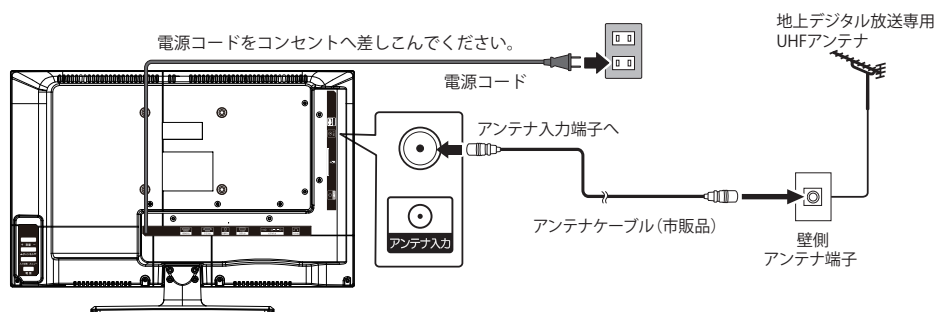


B-CAS カード取り扱い上のご注意

- ・ 破損させないでください。
- ・ 金属端子部分には手を触れないでください。
- ・ 重いものを乗せたり、踏みつけたりしないでください。
- ・ 水をかけたり、ぬれた手で触ったりしないでください。
- ・ 地上デジタル放送を視聴中に B-CAS カードを抜き差しすると、故障の原因になるのでおやめください。
- ・ 表裏、および挿入方向をよく確認して挿入してください。挿入方向を間違えると地上デジタル放送は視聴できません。
- ・ B-CAS カードを抜くときは、テレビ本体の電源プラグを抜き、ゆっくりと引き出してください。

アンテナと電源コードをつなぐ

アンテナ線の接続方法はアンテナ線の形状によって異なります。下図を参照して接続してください。



*アンテナケーブルは付属しません。
別途でご用意ください。

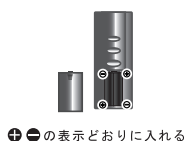
お願い

- ・ アンテナ工事には専門的な知識と技術が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
- ・ アンテナ線を接続するときは、必ずテレビ本体および接続機器の電源プラグを抜いてください。
- ・ アンテナ線は必ず同軸ケーブル（アンテナケーブル）を使用してください。
- ・ アンテナ線にデジタル機器を近づけないでください。
- ・ ケーブルテレビに接続するときは、伝送方式や接続についてケーブルテレビ会社にお問い合わせください。
- ・ 本体背面は熱くなります。絨毯やカーテン、衣服やプラスチック製品など溶けたり燃えたりするような物を付近に置かないでください。変形・溶解・発火する可能性があります。風通しの良いところへ設置してください。
- ・ 電源コードのプラグについて、極性プラグや接地プラグの安全機能を妨げないようにしてください。極性プラグは2本のブレード（端子部分）の一方が他方より幅広くなっているプラグで、接地プラグは2本のブレードに加えて接地用突起があるプラグです。これらの幅の広いブレード（端子部分）や接地用突起は、安全のために付いています。
- ・ 電源コードのプラグがコンセントに挿し込めないときは、専門業者に相談してコンセント交換などの対応をしてください。

リモコンに乾電池を入れる



1 フタを外します。



2 電池を正しく入れます。

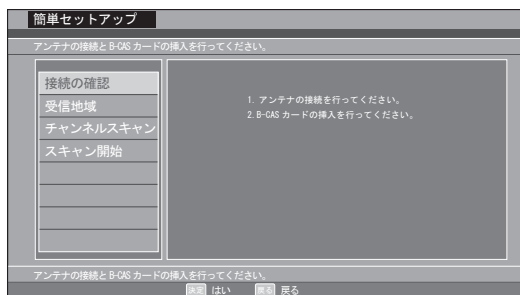


3 フタを閉じます。

* 付属の単4形乾電池は動作確認用です。
ご使用になる場合は、新しい単4形乾電池を別途でご用意ください。

チャンネル設定 最初の設定

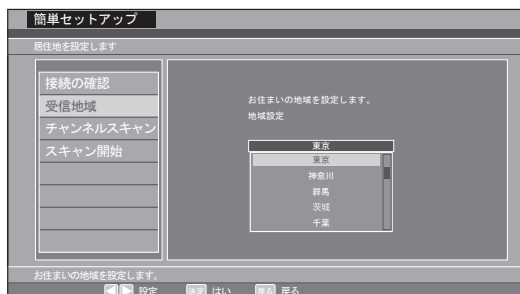
- 1 電源を入れます。
- 2 下記画面を表示して初期設定がはじまります。
メインメニューの「機器設定」から「工場初期化」を行うことでも再設定できます。
「アンテナの接続」と「B-CAS カードの挿入」の確認をしたら【決定】を押してください。



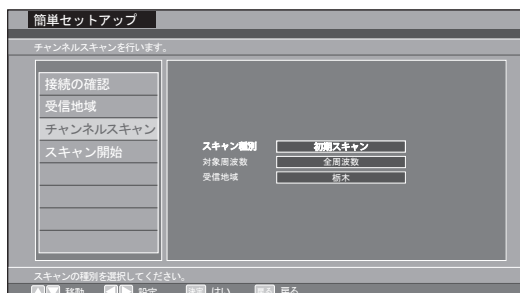
- 3 地域設定「東京^{*1}」を【方向】ボタンでご利用になる地域へ変更して【決定】を押してください。
右ボタンを押した後に、上下ボタンで地域を選択することができます。

※1 初期値は「東京」になっています。

メインメニューの「地域設定」から変更する場合には、設定された地域が表示されます。



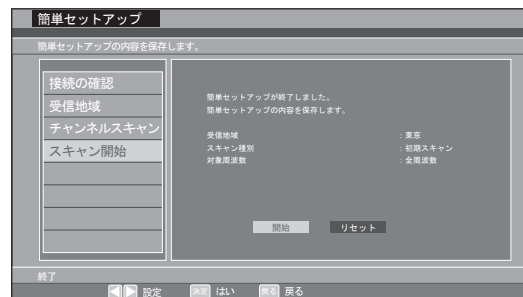
- 4 スキャン種別「初期スキャン」、対象周波数「全周波数」になっていることを確認して【決定】を押します。



※右ボタンを押した後、上下方向ボタンで対象周波数を「全周波数」または「UHF」から選択することができます。
必要に応じて設定してください。

- 5 下記の画面で【決定】を押すとチャンネルスキャンがはじまります。

必ず【決定】を押して簡単セットアップ（初期設定）を終了してください。
下記の場面で【決定】を押さずに終了すると、チャンネルスキャンを実行しないので視聴できません。



チャンネルスキャン中・・・



スキャン終了後、視聴できる放送波が見つかったとテレビが映ります。

※ 最初の音量は「30」です。
大きな音声が出力される場合がありますのでご注意ください。

スキャン中に放送波が見つからなかった場合は、「信号がありません。」と表示されます。
アンテナの接続や受信状況を再度確認していただき、設定メニューの中の「チャンネル設定」「チャンネルスキャン」を選択して、「スキャン実行」を実施してください。



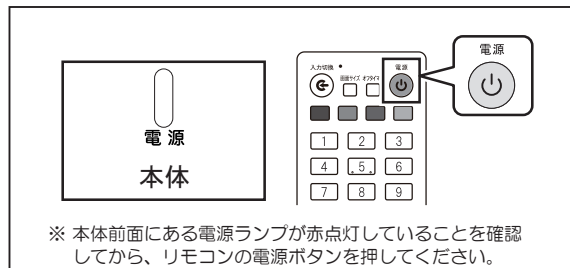
※チャンネルが表示されない場合は次を確認してください。
・アンテナが正しく接続されているか
・受信レベルは十分か
また、15 ページの「故障かな? !」と思ったらもあわせて参照してください。

※最初にチャンネルスキャンを行うと、映りの悪い放送局がチャンネルに割り当てられることがあります。
これは他地域の同じチャンネル（放送局）を受信していることによって起こります。
同じチャンネルを複数受信している場合は、メインメニュー内にある「チャンネル表示 / 選択」設定にて、映りの良好なチャンネル（放送局）を数字ボタンを割り当ててください。

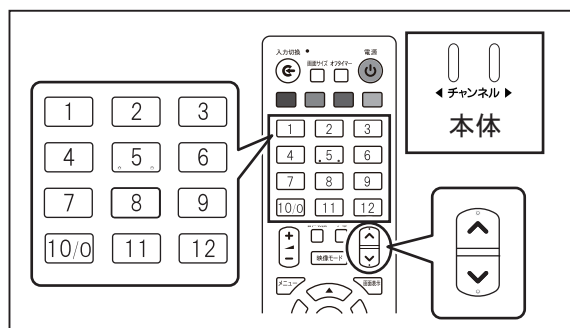
テレビの視聴と設定

■ テレビを視聴する

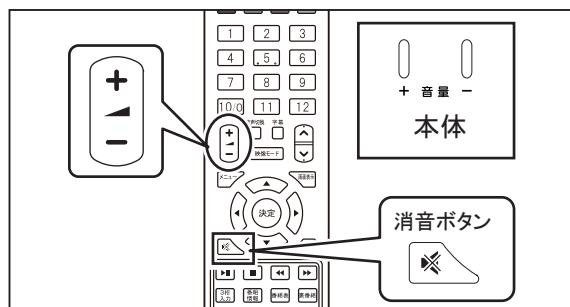
1 電源を入れます。



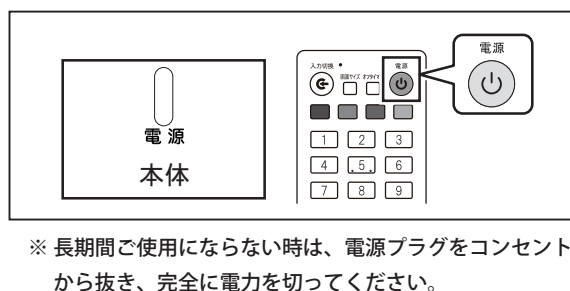
2 チャンネルを変更します。



3 音量を調整します。

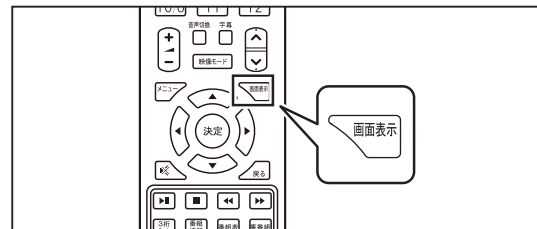


4 電源を切ります。



■ 画面表示

ボタンを押すと、現在視聴している画面の情報が表示されます。もう一度押すと表示が消えます。



■ 番組表示

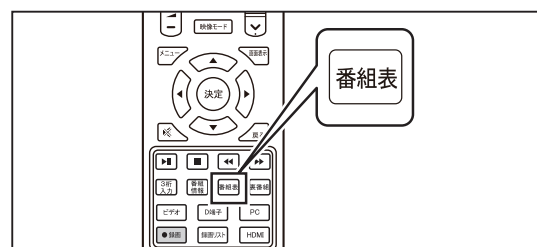
地上デジタル放送視聴中にボタンを押すと、番組表が表示されます。もう一度押すと表示が消えます。番組表の各操作は、番組表の画面下をご覧ください。

※ 電源を入れたときは「プログラムの情報がありません。」と表示されます。この場合は、番組表を表示したいチャンネルに合わせることで番組表が表示されます。すでに放送が終っている番組も「プログラムの情報がありません。」と表示されます。

※ 番組表を取得するまで時間がかかる場合があります。その間は番組表の操作ができなかったり、番組表の一部の表示がおかしくなる場合がありますが、その場合は一度番組表ボタンを押して番組表の表示を終了してください。

※ 左右方向ボタンを押すことでチャンネル（放送局）が切り換わります。チャンネルを切り換えた後に番組表ボタンを押すと、最後に選局したチャンネルが視聴できます。

※ 1 週間先の番組表まで確認できます。本日以外の番組表を表示している場合に、左右方向ボタンを押してチャンネルを切り換えると、切り換えたチャンネルの現在放送中の番組の表示に切り換わります。



■ 番組情報表示

地上デジタル放送視聴中にボタンを押すと、番組情報が表示されます。



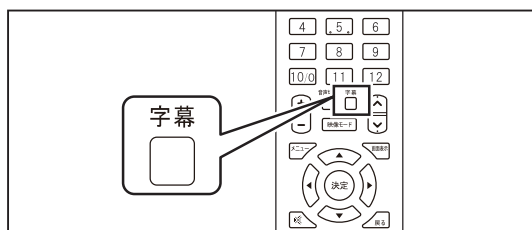
テレビの視聴と設定

■ 字幕表示

字幕のある地上デジタル放送では、ボタンを押すたびに字幕の表示 / 非表示を切り換えることができます。

※視聴している放送が字幕に対応していない場合は字幕が表示されません。

※メインメニューからも切り換えることができます。



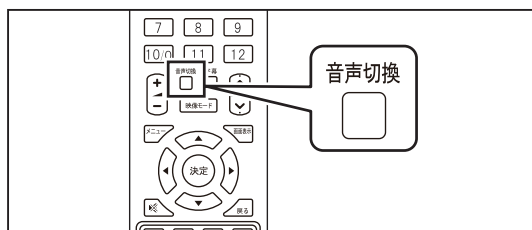
■ 音声切換

視聴している地上デジタル放送が音声多重放送番組の場合には、音声切換ボタンと方向ボタンで音声を切り換えることができます。

上下ボタンで切換：オーディオ 1 → オーディオ 2 …
(主音声 ⇄ 副音声)

左右ボタンで切換：ステレオ → 右音声 → 左音声…

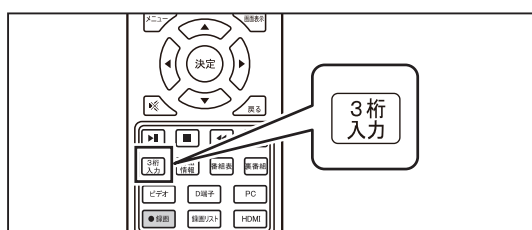
※視聴している放送が音声切換（音声多重放送等）に対応していない場合は切り換わりません。



■ 3桁入力での選局

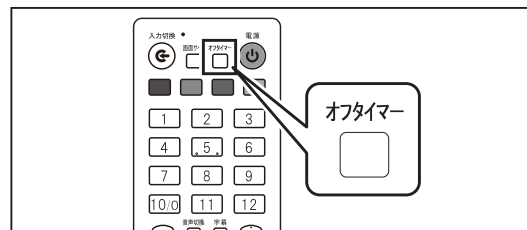
3桁入力ボタンを押し、数字ボタンで3桁のチャンネル番号を入力します。

入力した番号に対応したチャンネルに切り換わりします。3桁チャンネル番号の後ろにある2桁は枝番と呼ばれる番号です。ここでは入力しなくても視聴できます。枝番まで入力することでチャンネル番号の詳細番号まで選局できます。



■ オフタイマー機能

ボタンを押すと、設定時間が次のように切り換わりします。設定した時間経過後に自動で電源が切れます。テレビを見ながらおやすみになるときなどに便利です。



オフタイマー：オフ → 15分 → 30分 → 45分
↑ 120分 ← 105分 ← 90分 ← 75分 ← 60分 ←

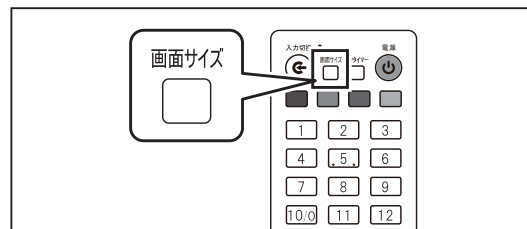
■ 画面サイズ設定

画面サイズボタンを押すごとに画面サイズを切り換えることができます。

好みの画面サイズを選択してください。

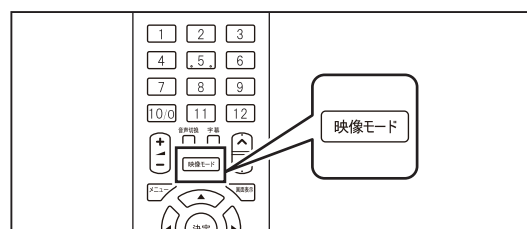
画面サイズ： → ジャストスキャン ←
フル ← ズーム ←

※適用できる画面サイズ項目だけが表示されます。
適用できない項目は表示されません。



■ 映像モードの変更

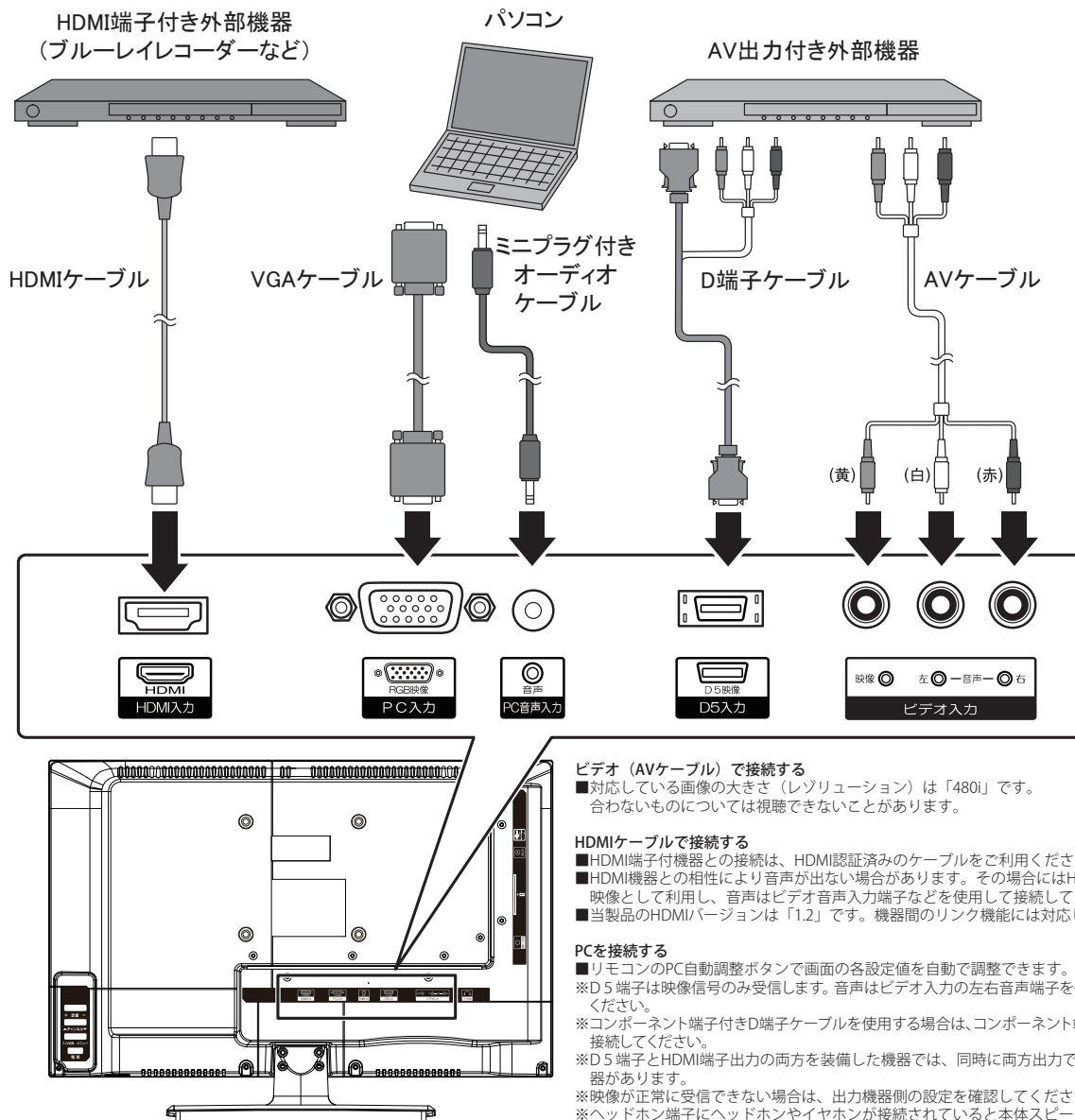
映像モードボタンを押すごとに、各モードへ切り換わります。好みの画面サイズを選択してください。



映像モード： → 標準 → 鮮明 ←
ユーザー ← 映画 ←

外部機器と接続する

本製品の背面にある各種接続端子と外部機器を接続することができます。



ビデオ (AVケーブル) で接続する

- 対応している画像の大きさ (レゾリューション) は「480i」です。合わないものについては視聴できないことがあります。

HDMIケーブルで接続する

- HDMI端子付機器との接続は、HDMI認証済みのケーブルをご利用ください。
- HDMI機器との相性により音声が出ない場合があります。その場合にはHDMIケーブルを映像として利用し、音声はビデオ音声入力端子などを使用して接続してください。
- 当製品のHDMIバージョンは「1.2」です。機器間のリンク機能には対応しておりません。

PCを接続する

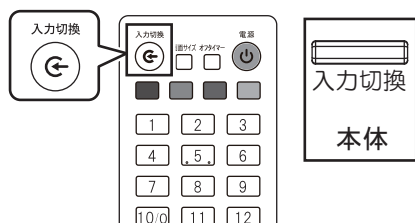
- リモコンのPC自動調整ボタンで画面の各設定値を自動で調整できます。
- ※D5端子は映像信号のみ受信します。音声はビデオ入力の左右音声端子を使用して接続してください。
- ※コンポーネント端子付きD端子ケーブルを使用する場合は、コンポーネント端子を外部機器に接続してください。
- ※D5端子とHDMI端子出力の両方を装備した機器では、同時に両方出力できない仕様の機器があります。
- ※映像が正常に受信できない場合は、出力機器側の設定を確認してください。
- ※ヘッドホン端子にヘッドホンやイヤホンが接続されていると本体スピーカーから音声が出力されません。
- ※ダイレクト入力切替ボタンを押すと、画面表示を各入力へ切り換えることができます。同じダイレクト入力切替ボタンを押すと、その直前まで視聴していた入力に切り換わります。

同軸音声ケーブルで接続する

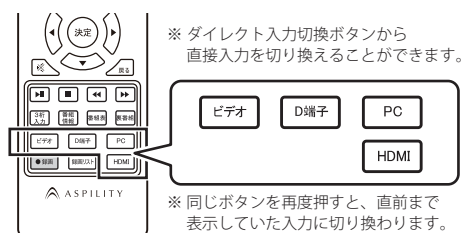
- テレビの音声をデジタル信号で出力することができます
- ※接続する外部機器の取扱説明書をよくお読みになってから接続してください

接続時のご注意

- ・ケーブルを接続するときは、テレビ本体および接続する機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ケーブル接続については、接続する機器の取扱説明書もご確認ください。
- ・接続した機器は入力切替を行うと、テレビに映すことができます。



※ 入力切替の画面を表示した後に上下方向ボタンで入力を選択し、決定ボタンを押すことで入力を切り換えることができます。



※ ダイレクト入力切替ボタンから直接入力を切り換えることができます。

※ 同じボタンを再度押すと、直前まで表示していた入力に切り換わります。

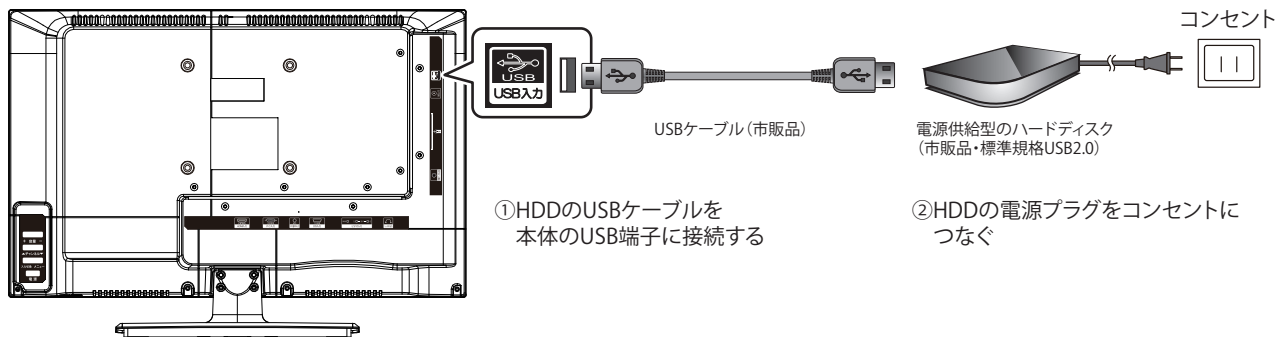
別売のUSBハードディスクと接続する

本製品で番組を録画するためには、別売のUSB接続ハードディスク（HDD）が必要です。
 本体にはハードディスクを内蔵しておりませんのでご注意ください。

①ハードディスクのUSBケーブルを本体背面のUSB端子へ接続します。

②ハードディスクの電源プラグをコンセントに差し込みます。

※ハードディスクの電源がオフの状態でご接続してください。

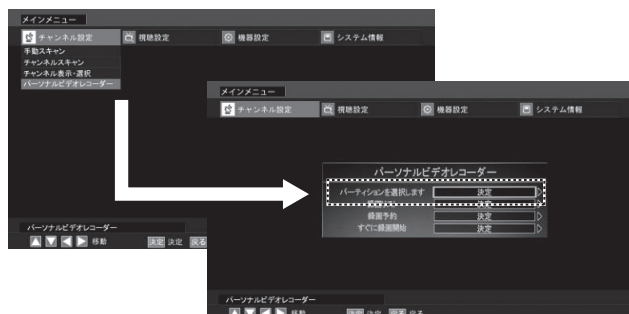


①HDDのUSBケーブルを
本体のUSB端子に接続する

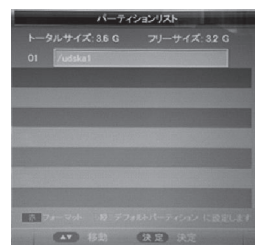
②HDDの電源プラグをコンセントに
つなぐ

- ③テレビ本体とハードディスクをUSBケーブルで
接続後、ハードディスクの電源をオンにします。
 ④リモコンの【メニュー】ボタンを押して「チャン
ネル設定」→「パーソナルビデオレコーダー」を
選択し、【決定】ボタンを押します。

※ハードディスクを接続後、本製品が外部機器を認識する
まで多少時間がかかることがあります。



- ⑤「パーティションを選択します」を選択し、
【決定】ボタンを押すと「パーティション
リスト」が表示されます。

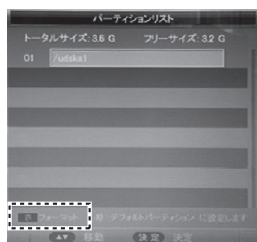


⇒はじめて接続するハードディスクの場合は
次項「ハードディスクのフォーマット」へ

- ⑥パーティションが分かれている場合は、その
場所を選択して「デフォルトパーティション
に設定します」を選択し、【決定】ボタンを
押します。

ハードディスクのフォーマット

- 1 はじめて接続するハードディスクの場合、
「パーティションリスト」の画面にて
リモコンのカラーボタン【赤】を押して
フォーマットを行います。



- 2 「フォーマットしますか？」のメッセージが出ます。
方向ボタンで「はい」を選択し、決定ボタンを押
します。

※既に録画済みの番組やデータがあるハードディスクをフォーマットすると、
保存データが消去されますのでご注意ください。

- 3 フォーマットに成功したら、
【戻る】→【戻る】→【戻る】でメニューを終了。
これでハードディスクの設定が完了します。

※最後にフォーマット、または再登録したハードディスクが「録画先HDD」に設定されます。
録画する記録メディアを変更する場合は「録画設定」メニューから変更してください。

◎ハードディスクの取り外しかた

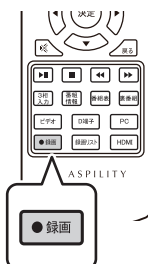
- ハードディスク及びテレビ本体の電源をオフにしてから取り外してください。
- 再生中や録画中など、ハードディスクを使用中に取り外すとハードディスクが破損して使用できなくなることがあります
のでご注意ください。

録画 直接録画と予約録画

■見ている番組を直接録画

1. 視聴中の番組を録画する。

録画したい番組を選局してリモコンの【録画】ボタンを押します。



「録画を開始しますか」のメッセージが表示されます。【方向】ボタンで「はい」を選択し、【決定】ボタンを押すと録画が始まります。

※録画中に【録画】ボタンを押すと、録画時間を指定できます。

2. 番組表から番組を選択して録画する。

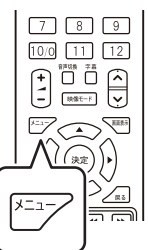
リモコンの【番組表】ボタンを押して視聴中の番組を選択し、【黄】ボタンを押します。



「録画を開始しますか」のメッセージが表示されます。【方向】ボタンで「はい」を選択し、【決定】ボタンを押すと録画が始まります。

3. メニュー画面から録画する。

【メニュー】ボタン⇒「チャンネル設定」⇒「パーソナルビデオレコーダー」⇒「すぐに録画開始」



「録画を開始しますか」のメッセージが表示されます。【方向】ボタンで「はい」を選択し、【決定】ボタンを押すと録画が始まります。

4. 録画を停止する。

録画中にリモコンの【■（停止）】ボタンを押すと「録画停止しますか？」とメッセージが表示されます。「はい」を選択し、【決定】ボタンを押すとその時点までの録画がハードディスクに保存されます。

※他の操作（数字ボタンを押す、など）を行う場合も録画停止確認メッセージが表示され、「はい」を選択すると録画停止します。

※録画中は、他番組の視聴はできません。

※録画中は一部操作ができません。

※録画中でも、ハードディスクまたは設定したパーティションの容量が不足した場合には、自動的に録画が停止します。ハードディスクの容量は十分あるか、確認してから録画をしてください。

■録画予約

1. 番組表から番組を選択して録画予約する。

リモコンの【番組表】ボタンを押して【決定】ボタンを押すと「番組情報」になります。

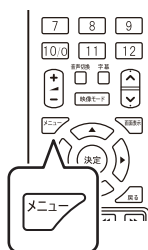


【方向】ボタンで「録画予約」を設定、【決定】ボタンを押すと「予約設定」※1画面が表示されます。「戻る」ボタンで予約内容が保存されます。

※1 予約モード、開始時間、録画時間、放送日モードなどの詳細設定が行えます。

2. メニュー画面から録画する。

【メニュー】ボタン⇒「チャンネル設定」⇒「パーソナルビデオレコーダー」⇒「予約設定」



【黄】ボタンで予約リストを追加⇒「予約設定」画面が表示されます。

- ・予約モード（録画予約または視聴予約）
 - ・放送局
 - ・開始時刻
 - ・録画時間
 - ・放送日モード（1回または毎週、など）
- 手動で各項目を設定し、「戻る」ボタンで予約内容が保存されます。

※現在時間から設定した時間を予約することもできます。

※録画が重複している場合は画面に注意が表示されます。

同時に複数の番組を録画することはできませんので、いずれかの録画予約をキャンセルしてください。

※視聴予約と重複している場合も、録画予約はできません。いずれかの予約をキャンセルしてください。

※時間が連続している番組を予約すると、次の録画の最初の数秒が録画されない場合があります。

※予約内容を変更する場合は、登録した録画予約を削除して再度録画予約を行ってください。

※予約録画中に停止ボタンを押すと、録画停止確認メッセージが出ます。

■録画予約ができない場合

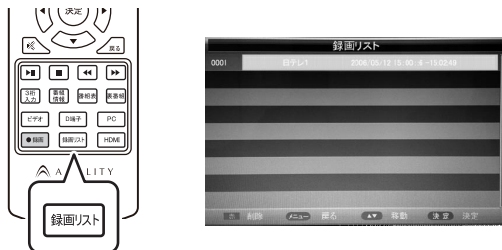
下記の場合には予約録画ができません。

- ・予約時間が重複している場合
⇒いずれかの録画予約、または視聴予約をキャンセルしてください。
- ・予約開始時に録画設定したハードディスクが接続されていない場合
⇒録画設定したハードディスクを接続してください。
- ・接続されているハードディスクの容量が不足している場合
⇒他のハードディスクを接続してください。
⇒既に録画されているファイルを削除してください。
- ・受信レベルが低下している場合
⇒アンテナ線や入力端子の接続、外部アンテナなどをご確認ください。

録画した番組を再生する 録画/予約リストの確認と削除

■録画した番組を見る

- ①リモコンの【録画リスト】ボタンを押します。

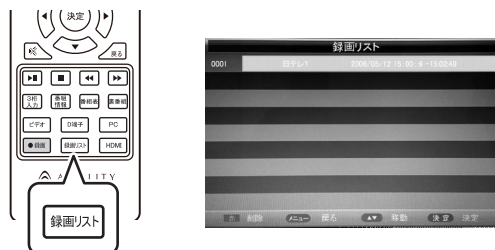


- ②「録画リスト」が表示されます。【方向】ボタンで再生したい番組を選択し【決定】ボタンを押します。

※番組視聴中に画面表示ボタンを押すと、録画番組の詳細が画面に表示されます。
 ※再生中は選局や入力切替の操作はできません。
 ※再生中は放送切替や録画リスト表示など、一部の操作をすることができません。
 ※録画リストに複数のファイルがある場合、再生が終わった後次のファイルが自動的に再生されます。

■録画/録画リストの確認と削除

- ①リモコンの【録画リスト】ボタンを押します。
録画リスト一覧の確認ができます。



- ②削除する場合は、録画リストから【方向】ボタンで番組を選択し【赤】ボタンを押すと「削除しますか？」とメッセージが表示されます。
 ③「はい」を選択し、【決定】ボタンを押すと削除されます。

※削除した番組はハードディスクから完全に削除されますのでご注意ください。

■再生時のリモコン操作

再生中は下記のリモコン操作ができます。



再生中に一時停止と再生を切り換えます。
巻戻し/早送り状態から再生に戻ります。



再生を停止します。



押すたびにx2→x4→x8→x16倍速で巻戻し再生ができます。



押すたびにx2→x4→x8→x16倍速で早送り再生ができます。



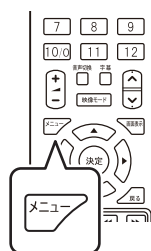
再生や巻戻し/早送りなどの再生状態と再生時間/録画時間を表示します。

※再生中に番組先頭まで巻戻すと再生が再開されます。
 ※再生中に番組最後まで早送りをすると「録画リスト」画面に戻ります。
 ※再生を停止または番組最後まで再生すると「録画リスト」画面に戻ります。
 ※「録画リスト」の画面から通常のテレビ視聴ボタンに戻る場合には【メニュー】ボタンを押してください。

■予約した番組の確認と削除

- ①リモコンの【メニュー】ボタンを押します。

【メニュー】ボタン⇒「チャンネル設定」⇒「パーソナルビデオレコーダー」⇒「予約リスト」⇒「録画予約」が表示されます。



- ②削除したい予約がある場合は、【方向】ボタンで選択し、【赤】ボタンを押すと「削除しますか？」とメッセージが表示されます。
 ③「はい」を選択し、【決定】ボタンを押すと予約が削除されます。

※【番組表】ボタンからも操作が行えます。
 ※【戻る】ボタンで視聴画面に戻ってください。

録画の制限事項

- ・本機は、「現在視聴している番組を録画」「席を外しているときに予約録画」ができます。録画中の放送波にて録画している番組以外を視聴することはできません。
- ・録画時間の目安（例）500GBのHDD 約60時間 ※番組のデータ量によって録画可能時間は変わります。
- ・1時間録画した場合でも60分ちょうどの録画時間ではありません。録画開始時や終了時の数秒のズレは機器の仕様となりますのでご了承ください。
- ・本製品で利用できるHDDの容量は200GB～2TBです。 ※データ転送方式が2013年現在の規格から変更されたHDDでは使用できない場合があります。
- ・本製品はGPT（GUIDパーティションテーブル）方式のHDDには対応しておりません。MBR方式でご使用下さい。
- ・ビデオやパソコンなど外部入力映像などを記録することはできません。テレビの録画のみ可能です。
- ・本製品で録画したデータは、パソコンなどで使用や視聴をしないでください。
- ・番組表は約7日後まで取得できます。これ以上先の録画予約はできません。 ※予約の詳細設定にて日時を際限なく選択することができますが、番組表に表示されている時間内の時間を指定するようにしてください。番組表で表示されていない日時を指定した場合の予約録画の正常な録画については保証いたしません。
- ・同じ時間帯に重複した録画をすることはできません。
- ・本機へ接続して使用するUSBで接続する外部記録メディア(HDD/ハードディスク)に録画する際は、事前に試し録画をして正しく録画できることを確かめてください。
- ・著作権保護のため本機で録画した番組(以下・録画データ)は移動(ムーブ)や複製(コピー)をすることはできません。
- ・本機で録画した番組は、本機でのみ視聴することができます。同機種でも視聴できません。
- ・本機の故障などの理由により修理や交換をした場合には、すでに録画していた録画データが視聴できなくなることがあります。あらかじめご了承ください。
- ・本機を購入されたお客様が録画した番組については、個人的または家族内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。録画したものを個人的または家族内その他これに準ずる限られた範囲で楽しむ以外に権利者の許諾なく複製や改変をしたり、インターネットなどで送信や掲示したりすることは著作権法上禁止されています。以下の行為についても原則として著作権法上保護された権利を侵害することになりますのでご注意ください。
 - 録画した番組を自分のホームページに載せる。
 - 録画した番組をメールなどで他人へ送る。
 - 録画した番組を営利目的で不特定多数へ貸す。
- ・著作権法に違反すると刑事処罰を受ける場合もありますので自己責任のもとでご利用ください。なお著作権法違反によって生じた損害に関して弊社は一切の責任を負いません。

■ハードディスク(HDD)などの記録メディア

- ・本製品で利用できるハードディスク(HDD)などの記録メディアは、DVDディスク等と違い半永久的に使用や保存ができるものではありません。
- ・録画した記録メディアが物理的に破損したり、内部のデータが損害することで録画した番組が再生できなくなる可能性があります。ディスクなどへ恒久的に記録しておきたい番組を録画する場合には、複製コピーや移動ムーブができるCPRM対応録画チューナー等の使用をお勧めします。

右に記載しているハードディスクは当社で使用を推奨するものです。

※ハードディスクにつきましては、それぞれの製品の取扱説明書をご確認ください。

※右記製品の仕様規格に準ずるハードディスクであれば他社製品であっても使用できますが、正常に使用することができなくても当社は責任を負いません。

※本製品の製造後に発売された新しいデータ書き込み速度やデータ転送方法では使用できない場合があります。

※本製品の製造後に発売されたハードディスクは使用できない場合があります。

※2TBを超えるハードディスクはご使用いただけません。

※上記推奨機種以外でもパーティション方式がMBRであればご使用可能です。

※GPT方式のハードディスクの場合でも、MBRに変換することでご使用できます。詳しい変換方法は下記URLをご参照ください。

http://qa.elecom.co.jp/faq_detail.html?id=5994（エレコム社サポート情報より抜粋）

メーカー名	シリーズ名	型番
Buffalo	HD-LCU3-Dシリーズ	HD-LC1.0U3-BKD
		HD-LC2.0U3-BKD
I/Oデータ	HDCL-Uシリーズ	HDCL-U1.0K
		HDCL-U2.0K
エレコム	LCH-DBTUTVシリーズ	LCH-DB1TUTV
		LCH-DB2TUTV

平成 27 年 9 月現在

■注意事項

- ※本機で使用したハードディスクを本機以外と接続しても、録画した番組を視聴できません。また、本機へ録画済みハードディスクを接続しても再生はできません。本機以外へハードディスクを接続すると初期化されて、保存したデータが消去されるおそれがあります。
- ※本機以外で使用していたハードディスクを本機で使用する場合は、P.9を参照していただき、ハードディスクのフォーマットを行ってください。初期化するとハードディスク内のデータは消去されますのでご注意ください。
- ※USBにて接続するハードディスクを本製品で初めてご使用になる場合は、P.9を参照していただき、本機へ接続してフォーマットを行ってから使用してください。
- ※フォーマットを行うとパソコンのデータなどがハードディスクに保存されている場合は消去されてしまいますのでご注意ください。
- ※USBフラッシュメモリは使用しないでください。
- ※電源非供給（パスポワータイプ）のハードディスクは使用できません。
- ※Flash-SSD（ソリッドステートドライブ）は使用しないで下さい。
- ※電源供給型のハードディスク（標準規格USB2.0HDD）を使用してください。使用時にはHDDに付属している取扱説明書も合わせてご覧ください。
- ※ハードディスクを使用中（アクセス中）に本製品から取り外し、ハードディスクが破損したり、以降の録画・再生が正常におこなえなくなることがありますのでご注意ください。
- ※ハードディスクを取り外す場合には、使用中でないことを確認し、ハードディスクとテレビ本体の電源をオフにしてから取り外してください。
- ※USBハブなどを使用しないで下さい。複数台のハードディスクを接続しての使用はできません。
- ※録画した番組を再生すると、映像と音声が多量にずれる場合がありますので、ご了承ください。
- ※USBケーブルやハードディスクは信頼のおける高品質なものをお使いください。本製品で利用できるハードディスク（HDD）は、DV Dディスク等と違い半永久的に使用/保存できる記録メディアではありません。録画した記録メディアが物理的に破損したり、内部のデータが損傷することで録画した番組が再生できなくなる可能性があります。ディスクなどへ恒久的に記録しておきたい番組を録画する場合には、複製コピーや移動ムーブができるCPRM対応録画チューナーなどの使用をお勧めします。
- ※物理的な衝撃（落下、重量物を本製品にぶつけるなど）を与えないでください。
- ※テレビや棚の上、揺れる場所など不安定な場所で使用しないでください。
- ※分解や変形をさせないでください。磁気を近づけないでください。
- ※電磁波が出ていると思われる場所の付近で使用しないでください。
- ※高温になる場所（自動車内、直射日光の当たる窓際など）で使用や放置をしないでください。高温になる場所で 用すると故障の原因となりますので本製品は風通しの良い場所へ設置してお使いください。

各種の設定

【メニュー】ボタンを押すとメインメニューが表示されます。ここから各種設定を変更することができます。



メインメニュー内の「チャンネル設定」を選択すると、下記の各種設定をおこなうことができます。

デジタル設定	設定項目	説明
手動スキャン	チャンネル	地上デジタル放送の物理チャンネルを選択します。
	開始	選択した物理チャンネルが視聴できるかどうかスキャンします。
	この項目を選択することで現在視聴中の物理チャンネルと受信状況（強度と品質）が確認できます。	
チャンネルスキャン	スキャン種別	初期スキャン：現在のチャンネル登録情報を初期化してチャンネルスキャンを行います。 再スキャン：現在のチャンネル登録情報に追加する形でチャンネルスキャンを行います。
	対象周波数	全周波数：ケーブルテレビ（パススルー方式）などを含めたチャンネルスキャンを行います。 UHF：地上デジタル放送波のみチャンネルスキャンを行います。
	受信地域	お住まいの地域・都道府県を設定してください。
	スキャン実行	上記の設定でチャンネルスキャンを行います。
チャンネル表示 / 選択	チャンネル表示 / 選択画面が表示されて、チャンネルの変更、削除、スキップを設定できます。 方向ボタン：チャンネルを選択 決定ボタン：選択したチャンネルを視聴 数字ボタン：選択している放送局を数字ボタンに割り当てます。 赤ボタン：視聴しているチャンネル以外を選択時に、選択したチャンネルを削除できます。 ×マークが表示されますので、決定ボタンを押して削除することができます。 012などのサブチャンネルを削除すると、011などのメインチャンネルが削除されますのでご注意ください。 青ボタン：スキップしたいチャンネルを選択して青ボタンを押すとスキップアイコンが表示されます。 このアイコンが表示されたチャンネルはチャンネルボタン等で選択されません。	
※最初にチャンネルスキャンを行うと、映りの悪い放送局がチャンネルに割り当てられることがあります。 これは他地域の同じチャンネル（放送局）を受信していることによっておこります。 同じチャンネルを複数受信している場合は、「チャンネル表示 / 選択」設定にて、映りの良好なチャンネル（放送局）に数字ボタンを割り当ててください。		
パーソナルビデオレコーダー	パーティションを選択します	ハードディスクのフォーマットや設定を行います。
	録画リスト	接続中のハードディスクに保存されている録画リストから再生・削除ができます。
	予約設定	予約リストから詳細設定、または予約の削除ができます。
	すぐに録画開始／録画停止	放送中の番組を録画できます。※録画中は録画停止メニューになります。



視聴に関する各種設定をおこなうことができます。

視聴設定	設定項目	設定詳細	説明
映像モード	画質モード	〔設定項目〕 標準・鮮明・映画・ユーザー	映像モードを切り換えます。「ユーザー」設定を選択時は、明るさ、コントラスト、シャープネス、色の濃さ、色合いを設定できます。
	明るさ	〔設定範囲〕 0～100	明るさを0（暗い）～100（明るい）の範囲で調整します。
	コントラスト	〔設定範囲〕 0～100	コントラストを0（弱）～100（強）の範囲で調整します。
	シャープネス	〔設定範囲〕 0～10	シャープネスを0（ソフト）～10（シャープ）の範囲で調整します。
	色の濃さ	〔設定範囲〕 0～100	色の濃さを0（薄）～100（濃）の範囲で調整します。
	色あい	〔設定範囲〕 0～100	色あいを0（赤）～100（緑）の範囲で調整します。
	色温度	〔設定項目〕 ノーマル・クール・ウォーム	画面全体の色温度を設定します。 ノーマル（通常）・クール（寒色、青っぽい）・ウォーム（暖色、橙っぽい）
	ノイズリダクション	〔設定項目〕 オフ・低・中・高	ノイズを低減します。ノイズが強く出ていると画像表示処理が遅くなり、正常な視聴ができなくなる場合がありますので、適切に設定してください。
音声モード	リセット	映像モード内の変更した項目を工場出荷時の状態（初期状態設定）に戻します。	
	音声モード	〔設定項目〕 標準・映画・音楽・スポーツ・ユーザー	音声モードを切り換えます。「ユーザー」設定を選択時は、高音、低音を設定できます。
	低音	〔設定範囲〕 0～100	低音を0（弱）～100（強）の範囲で調整します。
	高音	〔設定範囲〕 0～100	高音を0（弱）～100（強）の範囲で調整します。
	バランス	〔設定範囲〕 -50（左）～50（右）	左右のスピーカーから出力する音声を調整します。 -50（左側のみ）～0（左右均等に出力）～50（右側のみ）
	サラウンド	〔設定項目〕 オン・オフ	臨場感のある音声サラウンド出力を設定します。
	自動ボリューム	〔設定項目〕 オン・オフ	番組が切り変わったときなどに音量を適切な大きさに調整します。
PC 接続設定	リセット	音声モード内の変更した項目を工場出荷時の状態（初期状態設定）に戻します。	
	自動調整	【開始】を選択すると、下記項目を自動で調整します。	
	入力切換が PC 時に設定できます。	水平位置	〔設定範囲〕 -16～16 画面を-16（左）～16（右）へ移動調整します。
		垂直位置	〔設定範囲〕 -16～16 画面を-16（下）～16（上）へ移動調整します。
		フェーズ	〔設定範囲〕 0～63 フェーズを0～63の範囲で調整します。
字幕表示設定	クロック	〔設定範囲〕 -50～50	クロックを-50～50の範囲で調整します。
	文字スーパー表示設定	〔設定項目〕 オフ・第1言語・第2言語	視聴している番組が字幕放送の場合に、字幕を表示するかどうかの設定ができます。※放送を行っていない場合は表示しません。
		〔設定項目〕 オフ・第1言語・第2言語	視聴している番組が文字スーパー放送の場合に、文字スーパーを表示するかどうかの設定ができます。※放送を行っていない場合は表示しません。

各種の設定 つづき



製品に関する各種設定をおこなうことができます。

機器設定	設定項目	説明
言語設定	[設定項目] 英語・日本語	テレビに表示する言語を英語または日本語に設定できます。
表示時間設定	表示時間設定 [設定項目] 5秒～60秒 継続表示	OSD (On Screen Display) 画面に表示する各種画面を表示する時間を設定します。 「継続表示」を選択すると、他の操作を行うまで各種画面を表示し続けます。
	無操作時オフタイマー [設定項目] オフ・1～4時間	一定時間操作がない場合に電源を待機状態へ切り換える時間を設定します。
	無信号時オフタイマー [設定項目] オフ・15～45分	一定時間 テレビ画面に表示できる信号が無い場合に電源を待機状態へ切り換える時間を設定します。
同軸ケーブル音声出力設定	[設定項目] オフ・PCM・ビットストリーム	背面にある同軸音声端子から出力するデジタル音声信号の出力形式を設定できます。
省エネ設定	[設定項目] オフ・低・中・高	電力の消費を抑えるように設定します。 省エネ：オフ (0%) ～高 (約15%) ※省エネを使用すると映像や音声が正常に視聴できなくなる場合があります。その場合は省エネモードを「オフ」に設定してください。
設定初期化	[設定項目] はい・いいえ	P5チャンネル設定で設定した各項目を初期値に戻します。設定初期化の画面が表示されますので「はい」を選択すると初期化処理を行います。



製品に関する各情報を確認することができます。

システム情報	確認項目	説明
B-CAS カード情報	挿入されている B-CAS カードやチューナーの各種情報を表示します。	
システム情報	[項目] ソフトウェアのバージョン・ ボード名・パネル名・ ビルド時間	本製品に関する各種の情報を確認することができます。 弊社へのお問い合わせの際に確認していただく場合があります。
ソフトウェアの更新	通常のテレビ視聴時には使用しません。 アップデートが必要な場合に使用します。	

カラーボタンについて

地上デジタル放送を視聴中に、設定メニュー内にて操作する場合があります。

そのほかにも番組を視聴している時に下記の操作をすることができます。

赤ボタン：視聴している放送局のサブチャンネル（マルチビュー放送時）へ切り換えることができます。

緑ボタン：省エネ設定（機器設定・省エネモード）を切り換えることができます。

黄ボタン：「裏番組リスト」を表示することができます。

通常視聴に戻る場合は、裏番組ボタンを押してください。

故障かな？！と思ったら

■ 修理を依頼される前にお調べください

次のような場合は故障ではないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。
それでも異常があるときは使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、弊社お客様相談窓口にご連絡ください。
本製品では、ゲーム機からの映像信号、バージョンなどによって映像が映らない場合があります。あらかじめご了承ください。

このようなときは		ここをお確かめください
電源	電源が入らない	- 電源コード、電源プラグの接続は確実ですか？ - 電源コードを接続した直後等の場合には、内部処理をしているために反応できない可能性があります。⇒30秒ほどお待ちになってから電源を入れてください。
	急に電源が切れた	- オフタイマーなどを設定していませんか？ ⇒再度電源を入れ、同じ症状が起こらないか確認してください。
リモコン	リモコンで操作できない	- リモコンの乾電池が消耗していませんか？ - 乾電池のプラス／マイナスが逆になっていませんか？ - テレビのリモコン受光部に正しく向けて操作していますか？ - テレビのリモコン受光部に強い照明や直射日光が当たっていませんか？ - 録画開始時間の1分前ではありませんか？
テレビを見ているとき	映像も音声も出ない	- アンテナ線が外れていませんか？ - 接続されていない入力先などに切り換えられていますか？ - 外部機器の接続ケーブルが外れていませんか？
	映像と音がずれる	電源起動時やチャンネル変更時に内部処理がずれることで音声がずれて聞こえることがあります。チャンネルを切り換えたり、電源の再起動などで解消できます。
	映像は出るが、音が出ない	- 消音状態になっていませんか？ 音量が0になっていませんか？ - ヘッドホンが接続されていませんか？ - HDMIケーブルやD端子ケーブルを映像入力に使用しているときには、音声ケーブルを別に接続しなければならない場合があります。
	ビデオを見ているときに、片側のスピーカーから音が出ない	- 音声に関係する入力端子の接続ケーブルが外れていませんか？ - 音声端子がしっかりと挿入されているか確認してください。
	音身に異音が入る 映像にノイズが出る	- 本製品の近くで携帯電話などの無線機器を使用していませんか？ ⇒携帯電話などを離してお使いください。 - アンテナの向きがずれていませんか？ - 受信電波信号が弱い状態ではありませんか？（受信レベルを確認）
	映像が悪い	- アンテナ接続コネクタが外れていませんか？ - アンテナ線が切れたり、外れたりしていませんか？ - アンテナが風で壊れたり、曲がったり、向きがずれたりしていませんか？ - 近くで落雷や電波障害などが起きていませんか？ 1本のアンテナ線を複数のテレビやレコーダーに接続していませんか？ - 近くで電磁波を出す家電製品を使用していませんか？ - 映像を正しく調整されていますか？ - チャンネルは正しく設定されていますか？ - 受信電波信号が弱い状態ではありませんか？
	色縞模様が出る 色が消える 縦線状の妨害が見える	- アンテナやアンテナ端子への妨害電波の影響が考えられます。 ⇒地上波放送のアンテナ線の接続には、同軸ケーブル（市販品）をお使いください。 ⇒アンテナの高さや向きを調整すれば、妨害電波をある程度少なくできます。 - 外部機器からの入力映像を見ている場合は、接続や設置場所を確認してください。
	色がうすい 色合いが悪い	- 映像設定は正しく調整されていますか？ - チャンネルは正しく設定されていますか？ - 各映像端子の接続は確実ですか？
	画面が暗い	- 映像モードが変更されていませんか？ - 映像の調整は正しいですか？ - 省エネモードが設定されていませんか？
	地上デジタル放送が映らない	- B-CASカードは正しく挿入されていますか？ ⇒B-CASカードを挿入しないと、地上デジタル放送は視聴できません。
	地上デジタル放送が受信できない	- お住まいの地域は、地上デジタル放送の対象エリアですか？ - UHFアンテナは、地上デジタル放送の送信施設に向けられていますか？ - 地上デジタル放送が受信できるUHFアンテナをご使用ですか？ - 放送の改善のために放送局が電波等を変更することがあります。そういった変更を本製品で受信すると普通ではない動作（操作が効かなくなる、映像が止まる等）が起きることがあります。その場合は弊社サポートセンターまでご連絡ください。
	番組表の動きについて	- 他のテレビと比較すると番組表の操作や動作について違うところがありますが、本製品の仕様となりますのでご了承ください。 - テレビ起動時に番組表が一部しか表示されない：表示されていない番組表は、放送局を切り換えることで番組情報を取得して表示します。 - 放送局を切り換えると操作ができなくなる：番組表などの情報を取得して表示するための処理を行っている、表示のための処理が終るまで操作が効かない場合があります。この場合は一度番組表の表示を終了させてから、再度番組表を表示してみてください。 - 現在時間以外の番組表を表示していても、放送局を切り換えると現在時間の番組表へ表示が切り換わります。 - 番組表の放送局を切り換えると、テレビに表示している放送局も切り換わります。

故障かな？！と思ったら（つづき）

■ 地上デジタル放送のメッセージ

地上デジタル放送視聴時に、状況に合わせてテレビ画面にメッセージが表示されます。

表示	状態	優先度 ^{*1}
信号がありません。	アンテナレベル低下。またはチャンネル未設定。	 高 ↑ 低
サービスが使用できません。	信号が弱い 受信しても視聴できないとき	
このボタンにはチャンネルが割り当てられていません。	無効な数字ボタンが指定されたとき	
無効なチャンネル番号	無効な 3 桁入力番号が指定されたとき	
B-CAS カードを正しく装着してください	B-CAS エラー発生時	
緊急放送が開始されました。「決定」でチャンネルが切り替わります	緊急放送 メッセージ受信時	

*1 該当する問題が複数あった場合は優先度が高い順に 1 つだけメッセージが表示されます。表示されている問題を順次、解決してください。

■ B-CAS カードエラーについて

本製品は B-CAS カードを挿入して使用します。

B-CAS カード関連のエラーメッセージが表示されたときは、以下を確認してください。

- ・カードは正しく挿入されていますか？
⇒「B-CAS カードを入れる」の項目の図を参照していただき、正しく挿入してください。
- ・B-CAS カードスロットにホコリがたまっていませんか？
⇒市販のエアダスターなどを使用して、B-CAS カードスロットを清掃してください。
- ・B-CAS カードでないカードを挿入していませんか？
⇒B-CAS カードを挿入してください。

■ 液晶パネルの特徴について

- ・液晶パネルは構造上、非常に高精度な技術で作られており 99.99%以上の有効画素数を実現していますが、ごくわずかに画面の一部に光らない点（画素欠け）や周囲と異なる色の点灯したままの点（輝点）が存在する場合があります。これは故障ではありませんので予めご了承ください。
- ・液晶パネルは長時間同じ画像を表示していると残像（画面焼けの様な症状）が出たり、液晶パネルの寿命を縮めてしまう可能性があります。ご使用にならないときは必ず電源をお切りください。

■ 同軸ケーブル出力端子について

- ・同軸ケーブル出力端子からは「PCM」または「ビットストリーム」形式のデジタル音声信号が出力されます。「各種設定：機器設定」から変更することができます。
- 外部スピーカー等デジタル音声入 / 出力に対応している機器へ接続して楽しみください。
- ・一部の機器では使用できない場合がありますのでご了承ください。

■ HDMI 連動機能について

- ・本機とテレビ等を HDMI で接続することで一部連動動作ができることがありますが、その動作については保証致しかねます。

■ 製品本体からの放熱について

本製品を使用中に本体表面に触れると熱く感じますが使用上の問題はありません。製品本体から放熱する構造となっていますので、設置には次の事項に注意してください。

- ・本製品の上や背面に物を置かないでください。
 - ・本製品の周囲には通気に必要なスペースを十分にあげてください。
 - ・熱を溜めるような状況（棚の中、絨毯の上、布カバーを使用等）で使用しないでください。
- 十分な放熱ができない場合は・変形・破損・故障・発煙・発火などのおそれがあります。

■ 取扱説明書について

- ・記載されている内容は、実際に表示される画面と文章表現などが異なる場合があります。画面表示については実際の画面をご確認ください。
- ・記載されている機能の中には、放送サービス側がその運用をしていない場合には使用できないものがあります。
- ・本書や本製品に付属する著作物の著作権は弊社に帰属しています。弊社の許可なく営利目的又は私的利用目的等、その目的の如何を問わず、取扱説明書や付属する著作物等の一部又は全部を複製、複写、改変等することはできません。

■ 本製品を廃棄、または他の人に譲渡するとき

- ・本製品の譲渡または廃棄の際は、個人情報保護のためにデジタル受信設定など個人情報の消去を行ってください。
 - ・ゴミ廃棄場で処分されるゴミの中にこの製品を捨てないでください。
 - ・廃棄の際は地方自治体の条例または規則に従ってください。
 - ・本製品を廃棄する場合の B-CAS カードのお取り扱い等については、下記までご連絡ください。
- （株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター TEL：0570-000-250

製品仕様

商品名	24V型 地デジ フルハイビジョン液晶テレビ	
電源	AC100V 50/60Hz	
消費電力	35W （待機時消費電力 0.5W）	
年間消費電力	40kWh/年	
省エネルギー区分名	DC	
本体サイズ(約)	幅	約558mm
	高さ（スタンド含）	約380mm
	奥行（スタンド含）	約165mm
本体重量(約)	約3.4kg	
液晶パネル	受信機型サイズ	24V型
	駆動方式	a-Si TFT アクティブマトリクス
	画面サイズ	約521mm×293mm/599mm（幅×高さ/対角）
	画素数	1920（H）×1080（V）
	応答速度	5ms
	視野角	左右 約 90° 上下 約 65°
	輝度	220cd/m ²
	コントラスト比	1000:1
スピーカー	5W x 24 Ω	
受信チャンネル	地上デジタル：UHF（13～62） CATV パススルー方式対応	
入力出力端子	ヘッドホン出力	口径 3.5mm ステレオミニジャック×1
	同軸音声出力	R C A端子×1
	アンテナ入力	地上デジタル放送用アンテナ端子×1
	映像入力	コンポジット映像端子×1
	音声入力	音声端子（左、右）×1
	D5映像入力	D5 端子×1 14ピン 2列 対応入力解像度：480i、480p、720p、1080i、1080p
	PC映像入力	VGA 端子×1 D-sub15ピン 対応入力解像度：640×480 60Hz、800×600 60Hz、1024×768 60Hz、 1360×768 60Hz
	PC音声入力	PC 音声端子（口径 3.5mm ステレオミニジャック）×1
	HDMI入力	HDMI 端子×1 HDMI Ver1.2 標準規格 HDMI 入力解像度：480i、480p、720p、1080i、1080p
	USB 入出力	USB 2.0 に準拠 最大電流 500mA × 1 ※録画用記録メディア接続専用端子
使用条件	周囲温度：0℃～35℃ 相対湿度：20%～80%（結露のないこと）	
付属品	リモコン×1、リモコン用乾電池×2、B-CAS カード×1、 スタンド×1、スタンド取付用ネジ×4、 取扱説明書（保証書）×1	

- ※ 本製品は日本国内専用です。
- ※ 本製品は双方向番組、番組連動データ放送には対応しておりませんので、これらのサービスについてはご利用になれません。
- ※ 本製品は電子番組表（EPG:7 日分）と字幕・文字スーパー放送に対応しております。
- ※ 本製品の保証内容は、保証書に記載されている保証規約に準じています。
- ※ 本製品の仕様は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- ※ アンテナケーブルは付属していません。
- ※ CATV（ケーブルテレビ）を使用される場合は、ケーブルテレビなどの取扱説明書も併せてお読みください。
- ※ 付属の単4形乾電池2本はリモコンの動作確認用です。リモコンを使用する場合には、新しい乾電池を別途ご用意ください。
- ※ 本製品へ接続可能なケーブルであっても、外部機器との相性により接続して使用することが難しい場合があります。
外部機器の取扱説明書をお読みいただき、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
- ※ 必要時以外にはメンテナンス端子に触れないでください。故障の原因になります。
- ※ 本製品に付属している電源プラグは電気の断路回路として使用する場合があります。
電源プラグ（断路回路）はすぐに外せるコンセントへ接続して使用してください。
- ※ 本製品はクラスⅠ機器です。保護接地端子（電源プラグ）を適切に接続 / 設置して使用してください。

MEMO

■本製品のお問い合わせ先

Scubism

株式会社エスキュービズム通商

〔本 社〕〒105-0011 東京都港区芝公園 2-4-1 芝パークビル A 館 4F
〔商品管理部〕〒330-0846 埼玉県さいたま市大宮区大門町 3-169-2 ダヴィンチ大宮 3F
TEL / 048-658-5601 (代表) FAX / 048-658-5602

お客様相談窓口

☎ 03-4455-4123

受付時間
月～金 ※弊社営業日
(土日祝除く)

9:30 ～ 12:30
13:30 ～ 17:00